

令和6年度 林分条件調査表

森林管理署	由利森林管理署	
物件番号	1	
物件名	製品生産及び森林環境保全整備事業(木境鳥海国有林)	

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齢	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐採率 %	平均胸高直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量														最寄り市町村からの距離 km	備考											
									本数	材積 m³	m³/本	N m³	L m³	計 m³	伐倒		集・造材		小運搬巻立				森林作業道作設		林地保全		土場作設等 h	砂利数量 m³			薬剤散布 (スハイブ) ℓ	鉄板規格*枚数									
															方法	数量 m³	方式	数量 m³	フォワーダ 片道運搬距離 m	数量 m³	トラップル付きトラック 片道運搬距離 m	数量 m³	林地傾斜 緩・中・急 m	延長 m	2種 編柵 m	緑化 m²															
1065ち	水涵保	秋田スギ	66	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.94	33	32	675	522.32	0.77	182	125	307	全木	522	プロセッサ	307	361	307																	矢島総合支所	14.8			
1065ち1	水涵保	カラマツ	66	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.75	33	26	281	152.6	0.54	48	41	89	全木	153	プロセッサ	89	98	89																				14.8	
1066い1	水涵保	秋田スギ	69	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	2.38	33	24	1,449	438.27	0.30	153	104	257	全木	438	プロセッサ	257	313	257																				14.8	
1067ろ	水涵保	秋田スギ	65	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	0.65	25	22	193	66.53	0.34	22	17	39	全木	67	プロセッサ	39	125	39																				16.7	
1067ろ1	水涵保	秋田スギ	65	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.19	25	26	251	144.65	0.58	50	35	85	全木	145	プロセッサ	85	75	85																				16.7	
1067ほ	水涵保	秋田スギ	69	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	17.43	25	24	4,922	1986.1	0.40	609	554	1,163	全木	1,986	プロセッサ	1,163	998	1,163																			13.9		
1067ほ1	水涵保	秋田スギ	69	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	9.87	25	24	2,709	1307.8	0.48	412	354	766	全木	1,308	プロセッサ	766	668	766																			14.8		
1067ほ2	水涵保	秋田スギ	69	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	3.50	25	24	957	463.71	0.48	147	124	271	全木	464	プロセッサ	271	305	271																			16.7		
1067へ	水涵保	秋田スギ	66	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	0.60	25	22	207	66.2	0.32	22	17	39	全木	66	プロセッサ	39	263	39																			13.9		
1067わ	水涵保	秋田スギ	55	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	5.45	25	26	1,162	659.55	0.57	210	176	386	全木	660	プロセッサ	386	514	386																			13.9		
1067よ3	水涵保	秋田スギ	59	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	5.48	25	30	836	740.24	0.89	260	174	434	全木	740	プロセッサ	434	664	434																			13.9		
1067た	水涵保	秋田スギ	73	育成受光伐	複層伐(天)	2.40	48	30	1,237	726.43	0.59	255	170	425	全木	726	プロセッサ	425	1,732	425																			13.9		
1067そ	水涵保	秋田スギ	68	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	1.20	25	20	366	103.24	0.28	34	26	60	全木	103	プロセッサ	60	286	60																			16.7		
1068い	水涵保	秋田スギ	100	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	5.67	25	22	1,809	640.1	0.35	148	227	375	全木	640	プロセッサ	375	315	375																			17.0		
1068い2	水涵保	秋田スギ	102	経常	定性間伐	9.21	26	24	2,320	1052.7	0.45	247	371	618	全木	1,053	プロセッサ	618	344	618																			17.4		
1068い5	水涵保	秋田スギ	100	保育間伐(活用型)	定性間伐	0.90	29	18	522	128.7	0.25	5	71	76	全木	129	プロセッサ	76	118	76																			16.7		
合計						68.62			19,896	9,199	0.46	2,804	2,586	5,390		9,199		5,390	5,390																						

- 1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。
- 2 面積は伐採面積とする。
- 3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。
緩: 0° ~ 20°、中: 20° ~ 30°、急: 30° 以上
- 4 最寄りの市町村役場(支所含む)からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。
- 5 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。
- 6 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。

別紙

製品生産及び森林環境保全整備事業（木境鳥海国有林）
検知業務作業内訳書

単位：m³

物件番号	材種	作業工程	予定数量	備考
1号	素材	(1)の業務	2,747	
		(2)の業務	57	
		(3)の業務		
		(4)の業務		
		(5)の業務	2,586	
	計		5,390	

注1 各物件の内訳数量を、検知業務請負契約の作業内容毎に基づき記載すること。

検知業務請負（作業内容）

- (1)の業務 素材の長級・径級を測定、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (2)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (3)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行う作業、トラック運材の積み込み本数を確認し送状に記載・交付する作業、及び最終貯木土場において指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (4)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示、材積計算を行い、送状（概算引渡物件明細書）を交付し、スプレーの塗布を行う作業。
- (5)の作業 低質材及び低評価一般材の層積検知（縦、横、高さを測る）を行い指定野帳に記載し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。